

平成 17 年 2 月 22 日
WGリーダー相田 仁

ワーキンググループの検討状況報告

1 開催状況

平成 17 年 1 月 20 日（木） 第 1 回ワーキンググループ会合
平成 17 年 2 月 4 日（金） 第 1 回作業分科会

2 検討状況

(1) 固定電話のひっ迫対策について

ドライカップを使用する固定電話サービスの開始、0 A B ~ J 番号を用いる IP 電話の普及という動向を踏まえ、限りのある 0 A B ~ J 固定電話番号数がひっ迫する可能性があるため、全番号区画を対象に事業者アンケート調査により需要予測を行い、番号ひっ迫対策シミュレーションを実施する。アンケート調査、データ分析、番号ひっ迫対策シミュレーション等の作業を行うため作業分科会を設けることとした。

(2) ENUM トライアルへの対応について

ENUM トライアルのための体制整備について、総務省において e164.arpa の割当申請を行い、トライアル用のサーバの運用・管理及び番号付与等については業務委託等の契約により外部の機関にて行う体制とすることとした。また、トライアル用番号は、現在の国内トライアルで使用されている番号「+81 00CDEFGHJK」とすることとした。

なお、実運用時において使用する番号については、今後の事業者の動向を踏まえ、適切な時期に別途検討することとした。

(3) その他

営業・料金案内サービス等を提供する「116」等の「1XY」番号について、他事業者の加入者からも当該事業者の営業・料金案内に接続できるようにして欲しいとの提案があった。